

世 界 史
(問 題)
2014年度

< H26081121 >

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～7ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄(2カ所)に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番⇒

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 以下の文章を読み、問1～10に答えなさい。

現在の中国東北地方に分布していたツングース系女真族は、17世紀初めに太祖ヌルハチによって統一された。ヌルハチは国号を金（後金）と称したが、第2代太宗ホンタイジは清と改称した。清は独自の軍事組織を形成して、勢力を拡大した。ちょうどそのころ、中国では李自成の乱がおり、明朝最後の皇帝が北京で自殺して明が滅亡した。山海関で清軍と対峙していた明の武将呉三桂は、やむをえず清軍と手を結び、反乱軍から北京を回復した。こうして清の中国統治が開始された。清の第3代皇帝順治帝の時代である。呉三桂は功績によって藩王に封ぜられたが、康熙帝の抑圧政策に対抗して他の藩王と結んで三藩の乱をおこした。しかし、この反乱は康熙帝に鎮圧され、清の中国支配が確立した。続く雍正帝・乾隆帝の時代は皇帝独裁が強化され、その一方で中国統治は比較的安定した。税制度では、土地税に人頭税が組み込まれて一括して銀納する地丁銀制がほぼ全国に施行された。また、大規模な文献編纂事業がおこされ、知識人に対する思想統制が行われた。外交では、南下してきたロシアとの国境画定や通商上の取り決めを追われ、康熙帝時代にはネルチンスク条約が、雍正帝時代にはキャフタ条約が結ばれた。しかし、18世紀末から19世紀初めにかけて国内各地に反乱が広がり、さらにはイギリスの三角貿易の影響で中国からの銀流出量が増大した。清とイギリスの関係は1840年のアヘン戦争に発展し、敗れた清は不平等条約の先駆ともいわれる南京条約を締結させられた。19世紀半ばには英仏両国とアロー戦争がおり、清は天津条約、北京条約の締結を余儀なくされた。列強の中国進出が続くなかで、中国では西洋技術の導入をはかる洋務運動や立憲君主政の樹立をめざす変法運動がおこったが、いずれも挫折し、1911年の辛亥革命を迎えることとなった。

問1 下線Aに関連して、清の初期に都があった現在の都市を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 吉林省長春 イ 黒竜江省チチハル ウ 内蒙古自治区フフホト エ 遼寧省瀋陽

問2 下線Bの清の軍事組織の名称を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 衛所 イ 八旗 ウ 府兵 エ 猛安

問3 下線Cの皇帝名を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 孝文帝 イ 崇禎帝 ウ 正統帝 エ 万曆帝

問4 下線Dの呉三桂が封ぜられた地はどこか。地域名を記述解答用紙に漢字で記入しなさい。

問5 下線Eに関連して、この税制の施行以前に行われていた明代に始まる税制を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 一条鞭法 イ 戸調制 ウ 算賦制 エ 両税法

問6 下線Fに関連して、雍正帝の時代に完成した1万巻に及ぶ中国史上最大の類書の名を、記述解答用紙に漢字で記入しなさい。

問7 下線Gに関連する記述として誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 条約締結時のロシア皇帝はピョートル1世であった。
イ 外興安嶺とアルグン川が両国の国境とされた。
ウ ウスリー川以東については両国の共同管理とされた。
エ 不法越境者は本国官憲に引き渡されることとされた。

問8 下線Hの反乱をおこした勢力として妥当なものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 東学党 イ 東林派 ウ 白蓮教徒 エ 緑営

問9 下線Iに関連する記述として誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 清は厦門・寧波など5港の開港と、香港のイギリスへの割譲を承諾した。
- イ 公行の廃止の結果、首都北京における外国公使の駐在が決定された。
- ウ 翌年の虎門寨追加条約で、清はイギリスに対して最恵国待遇を認めた。
- エ 類似する不平等条約として、清・米間の望厦条約、清・仏間の黄埔条約が結ばれた。

問10 下線Jの前後の出来事に関する記述として誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 中国同盟会の結成とともに四大綱領が掲げられた。
- イ 章炳麟は再結成された光復会の会長になった。
- ウ 黄興は華興会を結成して中国同盟会には参加しなかった。
- エ 革命以前には多くの清国留学生在が日本に送られた。

II 中東諸国の独立に関する(i)~(iii)の文章を読んで、問1~8に答えなさい。

(i) の保護領だったチュニジアは、1956年に王国として独立したが、翌1957年に王政を廃止し、チュニジア共和国となった。

問1 空欄 に適合する国名を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア イタリア イ イギリス ウ フランス エ ドイツ

問2 下線Bの国に関して、この国の現在の首都の近郊で栄え、ポエニ戦争に敗れて滅んだ古代都市の名前は何か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

問3 チュニジアよりも後に独立した国を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア パキスタン イ インドネシア ウ マレーシア エ エジプト

(ii) 1830年、フランスの は、オスマン帝国の属領であったアルジェリアに出兵した。以来、アルジェリアは、1962年に独立するまでフランスの植民地となった。

問4 空欄 に適合する王の名前を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア シャルル7世 イ シャルル8世 ウ シャルル9世 エ シャルル10世

問5 下線Dに関連して、1962年、アルジェリアの独立を認めたフランスの大統領の名前は何か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

(iii) 1916年、、、の三国は、中東の分割に関する秘密協定を締結した。第一次世界大戦後、イラクは、の委任統治領となり、シリアはの委任統治領となった。

問6 空欄 、、に当てはまる国名は何か。それぞれにもっとも適合するものを選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | | | | | | | |
|---|------|---|--------|---|--------|---|------|
| ア | アメリカ | イ | フランス | ウ | ドイツ | エ | イギリス |
| オ | イタリア | カ | オスマン帝国 | キ | オーストリア | ク | ロシア |

問7 下線Hに関連して、この協定の名前を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

問8 下線Iに関連して、この国の現在の首都に関する以下の記述の中から誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アッバース朝初代カリフのマンスールが、円形の都市として造営した。
- イ ハールーン＝アッラシードの治世に、東方におけるイスラーム文化の中心地として繁栄した。
- ウ 13世紀、モンゴルのフラグに攻略された。
- エ 2003年、アメリカなどの対イラク攻撃により戦火にみまわれた。

III 以下の文章を読み、問1～9に答えなさい。

ヨーロッパの中世から近世では、キリスト教をめぐる絶え間ない争いが社会を発展させる原動力となった。11世紀にはローマ教皇庁を中心に大きな教会改革が起こり、教皇権は西欧世界全体に及ぶ宗教的権威を主張し、11世紀末には聖地奪還の十字軍を企て東方にもカトリック世界を拡大した。だが中世後期に世俗国家が伸長すると、西欧の王権は教皇権の世俗国家への介入に対抗し始め、教皇の権威も次第に失墜し教会大分裂も起こった。

その後16世紀には、宗教改革によりカトリック教会のあり方が根本的に否定されることになる。宗教改革はルターが贖宥状を批判し独自の信仰の教義を提唱したことに始まるが、ドイツの一部諸侯はルターの教えを擁護し、カトリックに対抗した反皇帝の同盟を結成した。その後ルター以外にも多くの宗教改革者が出現し、様々なプロテスタント宗派が形成され、カトリックとプロテスタント間の争いも激化した。とくにフランスではユグノーと呼ばれるプロテスタントが勢力を増し、カトリック側と国内を二分するユグノー戦争が起こった。

一方カトリック教会もプロテスタントに対抗し、教会改革のために公会議を開催し、組織と規律を再建した。またカトリック国であったスペイン、ポルトガルの海外進出にともない、ヨーロッパ外の地域にもイエズス会などの尽力で布教活動を拡大させた。その後スペインが「世界帝国」を樹立すると、世界中のスペインの植民地でカトリックが公認宗教となり、カトリック教会はヨーロッパの宗教から地球規模の宗教に転換することになる。

問1 下線Aの教会改革の動きから11世紀末に生まれた修道会を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア フランチェスコ修道会
- イ シトー修道会
- ウ ドミニコ修道会
- エ ベネディクト修道会

問2 下線Bに関連する記述として誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 教皇がこの十字軍を開始したきっかけは、ビザンツからの援軍の要請であった。
- イ この背景には農業の発達により人口が増加し、民衆宗教運動が盛んになったことがある。
- ウ この十字軍では、ユダヤ人の虐殺が起こった。
- エ この十字軍は、陸路ではなく海路でアッコンに上陸して聖地イェルサレムを占領した。

問3 下線Cの事象を象徴的に示す出来事を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アナーニ事件
- イ カノッサの屈辱
- ウ 聖像崇拜論争
- エ シチリアの晩鐘

問4 下線Dに関連する記述として誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ルターは魂の救済が善行によるものではなく、信仰のみによるという信仰義認説を説いた。
- イ ルターの教義は印刷により人々に流布し、その影響でドイツ農民戦争が起こった。
- ウ ルターを支持した諸侯は独自の領邦教会を創設し、教会を自身の支配下においた。
- エ ルターは、チューリヒで『新約聖書』のドイツ語訳を行った。

問5 空欄Eに入る言葉を記述解答用紙に記入しなさい。

問6 下線Fに関連する記述として誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ユグノー戦争は、サンバルテルミの虐殺事件が起こると深刻な状況になった。
- イ ユグノー戦争を終わらせた国王アンリ4世は、ナントの王令によりユグノーを国外に追放した。
- ウ ユグノーとはフランスでのカルヴァン派の名称で、「同盟者」を意味するとされる。
- エ ユグノー戦争末期に国王アンリ3世が暗殺され、ヴァロワ朝が断絶した。

問7 下線Gの公会議が開催された地名を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア トリエント イ ラテラノ ウ ヴァチカン エ コンスタンツ

問8 下線Hに関連して、中国で布教活動を行ったイエズス会士のうち清朝の宮廷画家として活躍した人物を一人選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アダム＝シャルル イ フェルビースト ウ フェルメール エ カステイリオオーネ

問9 下線Iに関連する記述として誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア フィリピンは16世紀にスペイン領になった。
- イ ユカタン半島にあったテオティワカン文明は、コルテスにより滅ぼされスペイン領となった。
- ウ アンデス高原にあったインカ帝国は、ピサロにより滅ぼされスペイン領となった。
- エ スペインは、メキシコのアカプルコとフィリピンのマニラとの間で交易を行った。

IV 国際教養学部1年のXさんは、父と海外旅行に出かけた。親子は次の写真の聖堂に入った。親子の会話を読み、問1～6に答えなさい。



X：お父さん、この巨大な聖堂が、6世紀に建立された、西アジア・ギリシア・ローマ建築様式を融合させた **A** ね。ドームとモザイク壁画が有名な世界遺産ね。

父：そうなんだ。この聖堂が完成した時代に、民法、特に、所有権の概念など、現代の法体系の基礎を築いたとされる書『 **B** 』が完成している。西ヨーロッパを中心とする **C** 啓蒙思想が発達する何百年も前に、市民社会の法秩序が整備されたことになる。Xも習っただろう。フランス革命の時代、**D** アメリカ独立宣言にも影響されたとされる『人権宣言』が採択される何百年前のことかわかるかな。

X：休みの時ぐらい、難しい話はよしてよ。ところで、ドーム天井のキリスト教の聖母子画と壁のアラビア文字が一緒になっているけど、珍しい光景ね。

父：1453年、帝国の第7代スルタンをつとめた **E** がこの街を征服してから、この聖堂はムスリムが、20世紀初頭

までモスクとして使用していたんだ。その時、帝国の新都として定められたのがこの街ってわけだ。遷都前まで、バルカン半島南東部、現在のブルガリア国境にほど近いアドリアノーブルに都を構えていたらしい。Xも高校の世界史でそう習っただろう。もっとも、高校で習うことの大半は現時点の研究で判明しているいわば「通説的史実」にすぎないから、いつか通説に異を唱える研究者による少数説が多数説になることもあり得るんだ。

X：そこが高校までの世界史と大学からの世界史の決定的な違いね。だから、世界史は難しいけど楽しいのよ。ともかく、この聖堂は500年近くもモスクとして使われていたってことね。その間、^G宗教戦争あり、革命あり、大戦ありで、国境が何度も変更されてきたけど、この聖堂だけは戦禍の歴史を生き延びてきたってことね。

父：建物は無事だったんだけどね…。でもこの国は^H第1次世界大戦に参戦して敗れ、国土の大幅縮小を強いられた。敗戦後に樹立した政権がスルタン制・カリフ制の廃止、政教分離、女性参政権の導入、アラビア文字の廃止などを推し進めた。

X：この聖堂が博物館になったのもその頃だって、ガイドブックにも書いてあるわ。

父：歩きすぎてちょっとおなかすいたからそこの屋台でお昼にしようか。

X：わあ、このケバブ、おいしそう。

問1 空欄Aに該当する建造物、空欄Bに該当する法典、空欄Eに該当する人物（スルタン）の名称を、それぞれ記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

問2 この聖堂のある都市は十字軍によって一時占領されたが、それ以後に起きた事象を二つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア スレイマン1世は、ハンガリーの3分割をもたらす「モハーチの戦い」に勝利した。

イ ビザンツ帝国では、領土がいくつかの軍管区に分けられ、司令官には軍事面だけでなく行政面の権限も与えられた。

ウ レオン3世は、イエスや聖母マリアなどすべての聖画像の崇拝を禁止した。

エ バヤジット1世は、ジギスムントを中心とする十字軍を撃破した。

問3 下線Cの時代に著された書の解釈として誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ルソーは私有財産制を批判し、万人の平等にもとづく人民主権論を主張した。

イ ロックは人民の財産権が阻害された時に、人民は圧政に対抗する反抗権を持つと主張した。

ウ デイドロはダランベールやフーリエの協力を得て『百科全書』を編集し、キリスト教を批判した。

エ ボーデンは王権強化を通じての内乱解決を説き、国家主権の絶対性を説いた。

問4 以下の文章は、下線Dの一部を抜粋したものである。空欄Jに該当する語を一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

We hold these truths to be self-evident, that all men are created equal, that they are endowed by their Creator with certain unalienable Rights, that among these are Life, Liberty and the pursuit of J. That to secure these rights, Governments are instituted among Men, deriving their just powers from the consent of the governed, that whenever any Form of Government becomes destructive of these ends, it is the Right of the People to alter or to abolish it, and to institute new Government, laying its foundation on such principles and organizing its powers in such form, as to them shall seem most likely to effect their Safety and J.

ア Property イ Equality ウ Happiness エ Independence

問5 下線Gに関連して、1618年～1648年にかけて、いわゆる「三十年戦争」が起こった。この戦争について、史実として誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア この戦争でドイツ諸邦は荒廃したが、その後の講和条約で領邦主権を確立することができた。

イ この戦争の一つの対立軸は当初は新教対旧教であったが、終局で旧教国フランスは新教勢力と同盟して旧教勢力とたたかった。

ウ グロティウスはこの戦争の惨禍の教訓から、戦時でも守るべき国際法規の確立を唱えた。

エ この戦争が終結後、オランダ・スイス・ベルギーの独立が正式に認められた。

問6 次の国家群につき小問(1)及び(2)に答えなさい。

ア	アメリカ	イ	イギリス	ウ	フランス	エ	日本
オ	イタリア	カ	ドイツ	キ	ソヴィエト連邦	ク	中華民国

(1) 下線Hの終結後、アメリカのウィルソン大統領の提唱で1920年に成立した事務局をジュネーブにおく国際機関につき、1935年末現在の常任理事国であった国を四つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

(2) 下線Iに関し、1919年に制定された憲法で女性参政権が認められた国を一つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

[以下余白]